

**動めながら出来る
発明起業**

3

日曜発明ギャラリー代表
小林 豊博

**発明起業は
「オリジナル情報+最新情報ツールの
上手な活用」がポイント!**

●妻から嫌われた発明実験

「おとうさん、近寄らないで！」家内が怖い顔。私たちは、週末の午前中は近くのテニスクラブでテニスを楽しむのが恒例でした。冷える日よけカバーの発明実験に、ペットのおしっこシートに使われている使い捨て吸水シートを水に浸け、帽子の後ろに布テープで貼り付けて、テニスをしながら効果を確かめていた時に、ザクツと言われた言葉です。

「小林さん、それなに？」周囲の目にも奇怪に見えていたようです。

それから数年後、「おとうさん、この帽子、ネットでもう3回も同じ人が買いに来たよ、神奈川県でテニスクラブの人が次々と欲しがるので、友達分を頼まれるのだから」家内がニコニコ顔で話しかけます。



ネット通信販売している クールビット・チタンキャップとハット

そのころ、家内は有限会社日曜発明ギャラリーという私の知的財産権のロイヤリティーのマネジメント、経理業務をする法人の代表取締役であり、クールビット・シリーズを専門に販売するネットショップの店長になっていました。

私は土日の休日にせっせと、アイデアを試作し、試験し、スポンサー会社に企画書を渡し、商品イメージを伝え、特許や意匠の出願書を自分で書いて、出願していました。クールビット・シリーズは「冷える帽子」から「ヘルメット用熱中症対策グッズ」に、「学童用フラップ帽子」に、「クールハンカチ」に、「クールベスト」等にと、商品化が次々と広がっていった時期です。

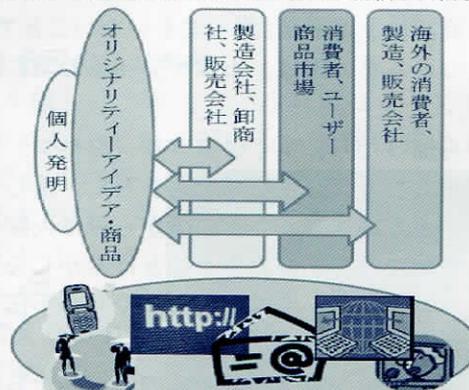
●ネットショップで販路拡大

家内は、ネットショップの店長として頑張っていました。クールビットは、季節商品で繁忙期は5月ごろから8月いっぱい約4か月間でした。よく「海の家と同じだね！」と話したものです。

このネットショップには、直接購入されるお客はもとより、その後、卸会社も、テレビ局も、雑誌社も新聞社もいろいろ来ることになりました。

最近のインターネット等が発達した情報化社会では、オリジナリティーのある情報発信ができれば、下図の様に、商品化を成功させる色々な方々と接点を持つことが出来るものです。

情報ツールを活用してアイデア商品を発信する概念図



インターネット等の情報ツール

私は、ホームページで情報発信し、その更新を自由にできることを目指して夜パソコン教室へ通いました。やがてサーバにアクセスし、ホームページの更新までは出来るようになりました。インターネット、携帯を中心とする通信技術は、個人のビジネスコミュニケーション能力を一昔まえと比べ、飛躍的に高めています。

この恩恵を、企業だけでなく個人として享受できる時代です。どうしても難しかったのが、写真やイラスト作成を伴う画像処理です。

ふと、目の前のパソコン教室の先生が作ってくれないだろうか？と考えました。

それ以後、パソコン教室は、授業料を払いながら、自分のホームページ作成と相談の場に変っていきました。

人にうまく協力してもらおうようにするのも一種の情報発信手段のノウハウだと思っています。今回は問題意識とひらめきの関係を話します。

【著者】ある大手電機会社の開発エンジニアを30年ほど経験、その後、住宅設備営業企画部門へ転属。そのころから趣味の発明を始め、「冷える帽子クールビット」で特許、意匠、商標等多数登録、定年を契機にその会社の運営に携わる。

No.651

11月号

発明ライフ

2009年



発行所 社団法人 発 明 学 会

発行・編集人 平井 工

〒162-0055 東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎03-5366-8811(代) FAX03-5366-8495

ホームページ <http://hatsumei.jp>

郵便振替口座 00110-2-159673

年間購読料送料共 5,000円/1部500円(送料68円)

(会費中に購読料を含む)

「発明研究会全国大会'09」盛会裡に終了

～市民発明家と企業の交流会～

全国から市民発明家および発明研究会が集う2年に一度の、「発明研究会全国大会」は9月20日(日曜日)と翌21日(祝日)にかけて、東京の日本科学未来館で開催されました。

当日は市民発明家のための祭典に相応しく、北は北海道、南は九州からと210名が参加され、日本科学未来館の大ホール「みらいCANホール」は市

民発明家の熱気に満ち溢れました。

第1日は午後1時から開催、まず(社)発明学会平井工会長が壇上に立ち、「昨今の産業界は不況の嵐が吹き荒れている中で、事業化される市民発明の数は増えています。商品が売れないといわれるなかで、会員のアイデア品は社会で注目を浴びて売られています。そこで、今回は、“企業と市民発明家との交流”

をテーマに開催します」と開会の挨拶を述べました。続いて中本繁実専務理事のユーモアを

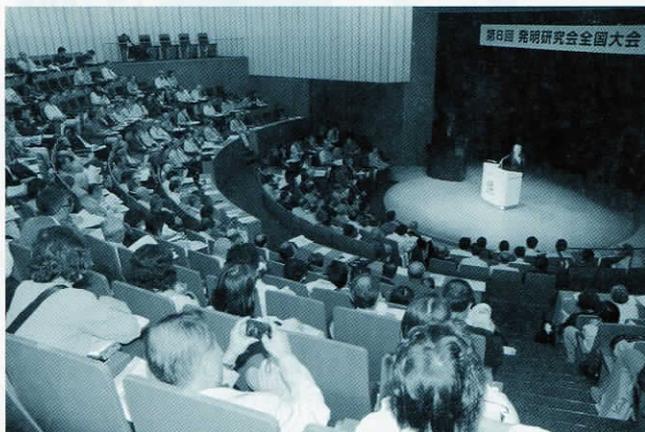


会場の日本科学未来館

第8回 発明研究会全国大会



開会の挨拶をする平井(社)発明学会会長(中央)と司会する中本(社)発明学会専務理事(左)



市民発明家の熱気に溢れる会場

発明ライフ - 11月号目次 -

- 発明研究会全国大会開催……………1・2
- 発明商品化ニュース
契約金15万円実施料3%「靴ひもほどけん」…3
- 発明商品化ニュース・実施料3%「稲束拾い上げ器」…4
- アイデアヒラメキの瞬間③
「女優さんのおもいきり手袋」……………5
- 勤めながらできる発明起業③……………6
- 発明が発する幸福感③……………7
- アイデア求めます
「靴・靴などのパーツ」「プラスチックダンボール利用」…8
- この会社に商品化提案「石から生まれた紙」…9
- アイデア探訪……………10
- 出願書類作成のためのWord活用術①……………11
- 発明研究会全国大会誌上発明コンクール入賞……………12
- 繊維製品アイデアコンクール応募受付中/
東京日曜発明学校/会館建設寄付者……………13
- 発明と特許講座のご案内……………14・15
- 発明研究大会記念誌発行……………16